

中小企業向け

Business Continuity Plan

B C P 策定

コンサルティング
サービス

(事業継続計画)

脅威
定義

目標
設定

現況
把握

計画
策定

一式100万円

※詳細はお問い合わせください

リスク感度を高め危害最少化

事業継続計画

事業継続マネジメント

BCP



BCM

Business Continuity Plan

Business Continuity Management

BCP策定には脅威の定義が必要になります。まず危害を加える力(ハザード)、危害を加えられる状態(リスク)から脅威を分析します。

檻の中の猛獣が脅威ならば動物園は危険です。危険が顕在する車は保険で脅威を分散させます。私たちには、災害時も最適解を求め業務を継続する医療界で培ったBCPノウハウがあります。目標志向の計画書策定や演習など提供しています。



停電BCP

停電は自社のみならず交通や通信など社会への波及が想定されるハザードです。電力逼迫が常態化し自然災害を伴わない停電も想定されます。

対策は事業内容や規模に応じますが、連携先への波及最少化を目指すBCPにニーズがあります。

通信障害

帰宅難民

自然災害以外のBCPニーズが高まっています。サイバー攻撃は典型例ですが、バイトテロ等の不祥事や集団離職も事業継続の阻害要因です。

帰宅難民は発災前の計画運休でも発生します。

人的要因

停電後に調達できるモノは限られているため、停電BCPは平時からの備え(BCM)と密接です。

停電から待避

停電は長くて1週間程度です。休業困難な医療福祉施設などを除けば休業も選択可能です。

対外的には休業できても営業再開を遅らせないための業務は発生します。在庫や設備を損害から守り円滑に復旧するための停電対策は不可欠です。

停電に強靱

停電は制圧せず共存が可能です。火力など他の熱源や落差などの物理エネルギーを利用します。

カセットコンロやクーラーボックスなどの日用雑貨も応用次第で業務に活かします。目標とする業務に合わせた備蓄や創意工夫をします。

停電しない

危機管理上『停電しない』はあり得ないですが停電しづらい環境づくりは可能です。発電設備の充実が手堅い方法です。

維持費や保守管理の負担軽減を目指し実装可能な停電対策を選択します。

発売元

NE S株式会社 (エヌイーエス)

所在地 兵庫県伊丹市野間5-10-13

URL <https://24med365.net>

メール info@24med365.net

登録電気工事業者
兵庫県 第300333号



お問合せ先



株式会社ノルメカエイシア

埼玉県越谷市流通団地3-1-13
TEL: 048-967-5372

E-mail: sales@normeca-asia.jp

URL: <http://www.normeca-asia.jp>

